



小山市花火大会
の花火。
7月28日(日)
研修センター駐
車場から撮影

8月に入りました。先月とはガラリと変わり、厳しい暑さが続いています。この猛暑の中ですが、実習生の皆さんは、暑さ対策が万全で、直射日光をなるべく浴びないように、通学時には帽子を被ったり、日傘を差したりする姿をよく見かけます。日傘率は雨傘率より高いのでは?と思えるほどです。ベトナム人実習生に話を聞いたところ、暑い時は直接日の光を浴びることが一番良くないと教えてくれました。また、暑い時は「ゆっくり動く」ことも大切だそうです。そう言われてみれば、夏場の実習生は少し行動がスローになりがちかもしれません。それも生活の知恵なのでしょう。多種多様な文化を持つ実習生の皆さんと交流していると、日本語及び日本の文化を教える立場にありながら、逆に教えてもらうことも多いことを実感します。

まだまだ暑い夏が続きそうですが、実習生の皆さんとともに、この猛暑を乗り切っていきたいと思います。

あじけんスコープ Vol.77

講師ファイル：小川 ひかる

初めまして。小川ひかると申します。諸先輩方のお知恵を拝借しながら、日本語講師になって1年2ヶ月が経ちました。最初は無我夢中で「これで本当に理解してもらえているのだろうか」と不安でしたが、その度に実習生の皆さんの笑顔に助けられてきました。授業で私が先ず気を付けているのは、出来るだけシンプルな日本語で皆さんに話し掛けると言うことです。私達も言葉のわからない外国で、いきなり沢山のことを話されたら、「なんで、～!？」と困惑しちゃいますよね。それから、授業にメリハリをつけることも意識しています。例えば、朝は元気だった皆さんも、お昼ご飯を食べた後は、あくびを始める実習生もいます。そんな時は、見逃さずに「ねむいの!?じゃ、からだをうごかすよ!」と、ゲーム的な要素を取り入れた活動を行ったりしています。そして、一番大切にしていることは、実習生の皆さんが間違いを恐れず、日本語を話す環境を作ることです。私は「まちがえたって、だいじょうぶ。また、おぼえればいいんだから。どんどん、にほんごをはなして!」といつも実習生に伝えています。



そして、授業を通して多くの実習生の明るい笑顔を見るのが、とても楽しみです。「今日はどんな笑顔に会えるのかな?」とワクワクしながら、毎朝、教室のドアを開けています。

今月の実習生

今月は、日本語能力試験 N1 の合格者で、日本語会話も流暢、受講態度も模範的で人柄も素晴らしいと、教務室でも話題となった介護実習生の王建(オウ ケン) さんを紹介いたします。

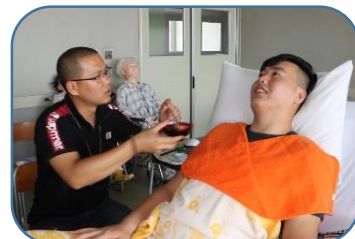


私は中国からの実習生の王建と言う者です。日本の介護の知識、技術を学んで、日本語を上達せようと思っ
て、日本に参りました。中国でも、高齢化社会が押し迫ま
ることに対し、介護の経験を持って、国の高齢化社会
に少しでも力をさげられるようにと私は思っております。

2019年7月日に日本に着いた私は、日本はとてきれ
いで、静かな国だと思っており、長く住むと、もと好きに
なると思っております。

学校の先生たちから熱心に、いろいろ教えていた
だいて、深く感謝しております。ほんとうにありがとうございます。

まもなく、実習に行く私は、自分の目標を達成する
ために、一生懸命努力をいたします。



あじけん流日本語授業

～日本語講師ブラッシュアップ研修会～

今月は、当校の日本語講師を対象に定期的に行なわれている講師の指導力向上を目的とした校内研修会の様子をご紹介します。

まず、午前中は、本校を卒業した実習生を受け入れている実習実施機関の実習生担当職員の方をお招きして、実習現場での実習生の皆さんの活動の様子や、日頃の生活等についてお話を聞かせて頂きました。私達がなかなか知ることが出来ない実習現場での実習生の皆さんの活躍の様子を聞くことが出来、講師陣からは、「現場の日本人と実習生間のコミュニケーションの大切さがわかった。今後もより一層、コミュニケーション能力の育成に力を入れていきたい」「実習生達が笑顔で生活している写真を見て、実習先でも大切にされていることがよく分かって安心した」など、日本語講師としてだけでなく、わが子の成長を見守る「親心」からの感想も聞かれるなど、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

午後は、「私の自慢の一品披露」というテーマで、本校の日本語講師名（総勢 22 名）が、授業の中で行っている独自の活動や、効果的に定着を図るためのテクニックを持ち寄り、各分科会に分かれてグループディスカッションを行いました。先生方それぞれの経験や個性が活かされた「自慢の一品」が沢山持ち寄られ、当校の講師陣の創造力こそが、きぼうの「自慢の一品」だということを確認いたしました。これからも実習生の皆さんに、より質の高い日本語教育が施せるよう、日々研鑽を重ねたいと思います。



実習実施機関の方による講話



タブレットPCを用いた指導を紹介するアエブ先生



先輩講師のアイデアを熱心に書きとめる先生方



授業の活動を体験的に学習する先生方

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます